

「第30回宮古市産業まつり」本州四端協議会ブース出店報告

開催日：令和6年10月5日（土）、6日（日）

場 所：宮古市民総合体育館駐車場

本州の四方位の最端の地の観光、物産の宣伝と本州四端協議会の活動のPRを行うため、3市町（下関市、大間町、串本町）の特産品の販売を行う本州四端協議会ブースを出店した。

地元企業のほか姉妹・交流都市等合わせて100団体以上が出店した。

当日は天候にも恵まれ、昨年度よりも多くの来場者で賑わった。

【来場者数】

10月5日（土）晴れ	来場者数	7,000人	（R5：6,000人）
10月6日（日）曇り	来場者数	8,500人	（R5：7,000人）
	合 計	15,500人	（R5：13,000人）

【本州四端ブースの様子】

下関市、串本町、大間町の特産品の販売とPRを行った。（※数量等は、一覧のとおり。）

昨年度と比べ、各商品の個数は減らし、商品の種類を増やした。地元商業科の高校生もボランティアでスタッフとして販売・接客を行った。

下関市は、「月でひろった卵」「ふぐの味噌汁」が初日で完売した。

串本町は、「熊野牛ふりかけ」「熊野牛ラーメン」が初日で完売した。

大間町は、「とろろ昆布スープ」「大間まぐろ缶詰」が初日で完売した。

今年度は、菓子類やマーマレード、ふりかけなど、普段食すものが人気だった。カレーや缶詰など、保存が利くものは終了間際まで残っていた印象である。

また、昨年度に引き続き、産業まつりの両日、マスコットキャラクター「よんたん」（以下「よんたん」）を出展した。「よんたん」を去年見た子どもたちからは「なんで今いないの」「会いたい」といった声も上がり、認知度の向上を感じた。

【本州四端協議会のPR】

各市町の観光ポスター掲示、パンフレット配架を行うことで、各市町のPRを行った。

配架する際には、「行ったことある」「今度行ってみたい」という声も耳にしたが、四端協議会については知らない方も多く、引き続き各市町のPRだけでなく、協議会のPRも必要だと感じた。



【売上報告】

仕入額 97,986 円 (R5 : 103,940 円)

売上額 99,300 円 (R5 : 106,750 円)

協議会会計入金額 99,300 円

